

# 協会だより

一般社団法人高知県木材協会

～目次～

- ・9月補正予算
- ・林野庁平成31年度予算概算要求
- ・商談会事業
- ・展示会事業
- ・平成30年度高知県木材産業政治連盟懇談会
- ・スーパーよさこい2018
- ・住宅着工情報・製品市況
- ・トピックス
- ・告知

「堀川 桜に集う鳥たちの唄」

春になると桜で彩られる堀川のほとりにある「ギャラリーHaRU(高知市九反田 10-1)」にて、現在堀田幸生氏によるバードカービング展が開催されています。これまでの堀田氏の作品や桜の枝から作られた鉛筆や箸置き、バードコールなどの販売もしております。木の温もりと鳥の吐息が感じられえる心地よい空間です。11月4日まで開催しておりますのでお近くに来られた際は是非お立ち寄り下さい(休刊日:月・火・水)



# 高知県 9月補正予算事業

9月県議会が20日開会し、県は計280億6400万円の一般会計補正予算案など47議案を提出した。高知県の掲げる第3期産業振興計画 ver.3の更なる強化策として原動力となる第一次・二次産業の林業分野では「新たな付加価値を生み出す仕組みを構築」し、「取引範囲の更なる拡大」を目指すため品質の高い製材品の生産体制を強化するため共同乾燥やJAS認定に必要な設備等の整備に向けた調査を行い、中小製材事業体を活かした、品質の高い製材品を安定供給できる地盤を構築していきたい考えである。

## 品質の高い製材品の生産体制強化

### 市場の動向

- 木造建築でのプレカット工法の増加  
→品質が安定している**人工乾燥材の需要増加**
- 木造軸組工法住宅のうちプレカットが占める割合：**92%**(H29)
- 非住宅木造建築では品質の確かな**JAS製材が必須**

### 現状

- 県内の人工乾燥材の状況**
  - 全製材品に占める人工乾燥材の割合  
H26：高知（29%）→全国（34%）  
H29：高知（32%）→全国（42%）  
全国との差は拡大
  - 製材事業体の人工乾燥材の割合  
大手製材事業体 5社：**70%**  
中小製材事業体84社：**30%**  
中小のシェアが低い  
(※大手製材事業体：原木消費量1万m<sup>3</sup>/年以上)
- 県内のJAS機械等級区分の状況**
  - JAS機械等級区分認定事業体  
H26：高知（6社）→全国（64社）  
H29：高知（6社）→全国（72社）  
全国との差は拡大
  - JAS機械等級区分格付け出荷量(H29)  
高知（9千m<sup>3</sup>）→全国（629千m<sup>3</sup>）  
全国の約1%

### 課題

- 人工乾燥材、JAS製材の生産体制の強化
- 中小製材事業体の生産拡大が重要
- しかし、後継者の有無や経営状況等により、製材事業体単独での新たな設備投資（乾燥施設等）への積極性に温度差
- 共同乾燥施設等の整備の検討

地域に根ざしたモデル事業を創出し、生産体制を強化

### 事業概要

- 単独では設備導入が難しい**中小製材事業体**を対象に、**共同による乾燥やJAS認定に必要な設備等の整備**に向けた調査を実施。
- 調査結果を受けてモデル施設の整備を進め、その取組を県内全域に水平展開
- これまでA材需要に対応してきた中小製材事業体を活かした、品質の高い製材品を安定供給できる高知県を目指す。

製材品高品質化モデル事業調査委託

<委託内容>

- 製材事業体の実態調査  
・経営状況、加工能力等の把握
- 事業計画の作成  
・製品アイテム（柱・梁用、内装用等）の検討  
・収支シミュレーションの実施  
・事業規模の決定や設備（加工、乾燥機）の選定
- 事業運営方法の検討  
・事業主体の形態の検討  
・共同乾燥のルールづくり（在庫等のリスクや費用負担等）

H30.11～H31.3

【9月補正】  
製材品高品質化モデル事業調査委託業務

H31

製材品高品質化  
モデル施設の整備

H32

モデル事業の  
実施内容検証

既存施設（乾燥機）稼働率向上及び  
製材品の高品質化に向けた取組

県内への水平展開  
(県全域のレベルアップ)

品質の高い製材品を安定供給できる高知県へ

出荷量目標 (H34)

◇人工乾燥材  
126,000m<sup>3</sup> (H29: 77,000m<sup>3</sup>)

◇JAS製材(機械等級)  
36,000m<sup>3</sup> (H29: 9,000m<sup>3</sup>)

## 林野庁平成31年度予算概算要求

林業成長産業化総合対策で挙げられている新たな森林管理システムの下で森林の経営管理を担う意欲と能力のある経営者の育成や経営の集積・集約化を進める地域への路網整備・高性能林業機械の導入、川上から川下までを結ぶサプライチェーンの構築による流通コストの削減、CLT等の利用促進など木材需要の拡大等の取組を総合的に支援していく中で木材産業・木造建築活性化対策として下記の内容を平成31年度予算概算要求の内容として盛り込まれた。

## 木材産業・木造建築活性化対策（拡充）【平成31年度予算概算要求額 1,468,399（1,087,413）千円】

### <対策のポイント>

木材需要の拡大を図るため、**低層建築物を中心とした無垢構造材の利用拡大、中高層建築物を中心としたCLT等の新たな木質建築部材の利用促進・定着、顔の見える木材での快適空間づくり**等を支援します。また、川上から川下までの流通の各段階における事業者の「お見合いの場」として、**SCM（サプライチェーンマネジメント）推進フォーラム**を設置し、効率的なサプライチェーンの構築に向けたマッチングを推進します。

### <政策目標>

国産材の供給・利用量の増加（27百万m<sup>3</sup> [平成28年] → 40百万m<sup>3</sup> [平成37年まで]）

### <事業の内容>

#### 1. 低層建築物を中心とした無垢構造材等利用拡大事業 373,916千円

- 非住宅分野の建築物におけるJAS構造材の利用拡大、横架材・2x4部材等の製品・技術開発を支援します。

#### 2. 中高層建築物を中心としたCLT等新たな木質建築部材利用促進・定着事業 743,704千円

##### ① CLT等建築物の普及・拡大

CLTを用いた先駆的な建築物の設計・建築等の実証、中高層建築物等におけるCLT等の利用拡大、設計者・施工者等の育成、BIM（3次元の建築モデルをコンピュータ上で構築するシステム）を活用できる環境整備等を支援します。

##### ② 新たな製品・技術の開発

CLT等新たな建築部材の利用促進に向けた構造設計手法や部材の標準化に必要なデータ収集、CLT・木質耐火部材等の製品・技術開発等を支援します。

#### 3. 顔の見える木材での快適空間づくり事業 97,921千円

- A材丸太を原材料とする構造材、内装材、家具、建具等の普及啓発などにより川上から川下までの事業者の連携の促進に対して支援します。

#### 4. 生産流通構造改革促進事業 252,858千円

- SCM推進フォーラム（協議会）の設置・運営による川上から川下までのマッチングの取組や、需給情報共有のためのデータベース整備等を支援します。また、木材加工設備等導入の利子助成・リース、森林認証材の普及啓発等の取組を支援します。

### <事業の流れ>



### <事業イメージ>

SCM推進フォーラムの設置・運営  
「お問い合わせ先」 林野庁木材産業課（03-3502-8062）

## 林業・木材産業成長産業化促進対策のうち

### 木造公共建築物等の整備

【平成31年度予算概算要求額 14,733,885（12,290,335）千円の内数】

### <対策のポイント>

公共建築物等木材利用促進法に基づく木材利用方針の策定市町村において、地域材利用のモデルとなるような公共建築物の木造化、内装木質化に対し支援します。

- 補助対象：公共建築物の木造化や内装木質化

- 補助率：1/2以内

・木造化：原則、建築工事費の15%以内  
ただし次に該当するものは1/2以内

- ①CLTを構造耐力上主要な部分に活用する建築物
- ②耐火建築物又は三階建ての準耐火建築物
- ③角材を活用した壁柱や重ね梁を活用した建築物 等

・木質化：建築工事費の3.75%以内（ただし木質化に係る事業費の1/2を超えないこと）

（建築工事費とは建築物を新築する際の建築工事費全体。既存施設において木質化を行う場合は、当該施設と同様の施設を新築した場合の建築費を試算。）

- 事業実施主体：地方公共団体、民間事業者等

### <事業の流れ>



※国で定めた配分基準で都道府県に配分。  
都道府県はさらに事業主体へ配分。

### 【参考】

公共建築物等の整備に活用可能な補助事業・制度等（林野庁HP内）  
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/index.html#hojyo>  
公共建築物における木材利用優良事例集（林野庁HP内）  
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/>

### 《対象施設例》

#### 【教育・学習施設関係】

- ・文化交流センター
- ・保育園及び子育て支援施設
- ・学校附属施設
- ・体育館、武道場
- ・図書館
- ・児童館
- ・青年の家及び研修所
- ・文化財保存及び展示施設

#### 【医療・社会福祉施設】

- ・病院・診療所
- ・高齢者福祉施設
- ・障害者支援施設

#### 【観光・産業振興関係】

- ・観光案内施設
- ・ターミナル施設
- （物販施設は対象外）



### ○事業のポイント

- ・JAS製材品使用の促進

木造化においては、原則として、構造耐力上主要な部分に用いる製材品について、「日本農林規格等に関する法律」（昭和25年法律第175号）の規定に基づき認定されたものを使用することとする。

- ・意欲と能力のある林業経営体との連携

事業対象の公共建築物において、意欲と能力のある林業経営体から供給される木材が利用されやすくなるため、地域の林業・木材産業や木材流通事情等に詳しい者又は団体が、

- ① 工事の発注情報、
- ② 必要な木材の量や時期などの木材需要情報、
- ③ 木材（素材・製材）の生産量、生産場所及び生産時期などの木材供給情報などを一元的に把握して、関係者に共有する仕組みを構築するなど、一定の工夫が認められる取組については、予算配分において加点の対象とする。

【お問い合わせ先】 林野庁木材利用課（03-6744-2626）

# 消費地商談会事業

## イベントへの出展

### ① パワフル中四国展

日本インターベンション治療学会の学術会議が神戸市で開催されました。  
主催者が岡山県の医師で「中四国の物産を強くアピールしたい」という意向があり TOSAZAI ブースも出展の機会を得ました。



木製のバックや竹製の弁当箱、桧の丸テーブルなどに人気がありました。

協議会会員：(株)コスモ工房

(協)ドライウッド土佐会

高知県木製品工業連合(協)(イータス・インザルーム)

開催日：8月2日(木)～4日(土)

場所：神戸国際会議場 3F

来場者：約 6,000 人の医療関係者

高知県の物産販売コーナー(高知県大阪事務所が営業)



### ② かがわ家博 わくわく家まつり

開催日：8月18日(土)19日(日)

場所：サンメッセ香川

来場者：11,388人(主催者発表)

協議会会員：レイホク木材工業(協) / ぼうむ合同会社

香川県内で「これから家を建てようか」と考えている若い夫婦が多く来場していたイベントでした。

杉の間伐材でできたモクレースに高い人気がありました。



## 大阪で TOSAZAI モデルハウスが完成しました

大阪府大東市の(有)中村工務店が建築中だったモデルハウスが完成しました。

社長はもともと高知県の出身者でしたが、18歳のときから大阪に出て、大工の修行、そして起業し、大阪の地域に根差した工務店を営んできました。70歳を過ぎ、もうそろそろ引退かと思っていた矢先に、昨年大阪商談会の案内ハガキが高知県から届き、「無垢と漆喰で自然素材の家を建ててみよう」と思うようになりました。

昨年12月から近くの所有地に建築を始め、8月末にやっと完成しました。まさに象徴的な自然素材の住宅が出来上がり、木材は馬路の無垢材で現しにし、壁面と天井は田中石灰のタナクリームが塗られています。また、居間には魚梁瀬杉の1枚板のテーブルも配置されています。大工の施工精度も高く、「この近辺にこのような自然素材に特化した住宅は無い」と社長もご満悦。このモデルハウスを活用し、今後は宣伝を行って、年間3棟程度の土佐材住宅を今後も建てて行きたい希望とともに社長の青春も復活です。

見学会などの機会があれば高知県からも応援すると約束をしていますが、何分、最近の地震と台風でご近所から修繕の要求が山積しており、見学会は11月以降になると思われま



馬路村から感謝状の贈呈



## 大阪の台風被害はけっこう深刻



公園の樹木も根本から倒れていました。

関西国際空港の被害も甚大ですが、大阪に行けば至る所で先の台風被害を目にすることになります。

土佐材流通拠点の大阪木材相互市場(株)も港の近くに有り、風でかなり倉庫の天井が破れたと言っていました。

今年12月に予定していた「お客様感謝祭土佐材まつり」も今回は延期せざるをえない状況でした。



高知県大阪事務所、馬路村役場、木材協会で現地確認とお見舞いに伺いました



倉庫の屋根で傷んだ箇所は200か所以上あります。

## 木材輸出促進事業

JETRO 主催の輸出セミナーが2つありました。

平成29年の日本からの木材輸出は総額で326億円。その約45%は中国に向けて丸太が中心、約23%はフィリピンに向けて合板を中心とした出荷です。また、丸太出荷の全体の約7割は九州の港から出荷されています。韓国への桧材の輸出は最近減少傾向にあります。

### 丸太の主な輸出港(平成29年)



東南アジア向け木材輸出セミナー  
9月6日(木) 愛媛県林業会館



韓国向け木材輸出セミナー  
9月14日(金)大阪梅田スクエアビル

(9/6セミナー配布資料より)

# 展示会事業

## ナイス福岡市場扇木材株式会社第8回優良土佐材展

日時：平成30年7月26日(木) 11:30~16:00

場所：福岡県糟屋郡志免町別府北1丁目11番1号

ナイス(株)福岡市場

浜問屋：扇木材株式会社

来客数：約75人(参加者 約85人)

約60社

高知県参加者：

谷添(木材産業振興課)

谷口(谷口製材所)

松岡(木材協会)



九州地区で唯一の販売拡大拠点であるナイス(株)福岡市場の扇木材株式会社で第8回の優良土佐材展を開催した。役物の取扱いを精力的に行っている市場であり、役物の市況は厳しいとはいえ、今回も扇木材株式会社による出荷要請活動もあり、西部木材センターや嶺北地区の製材メーカーさんに協力していただき、まずまずの出材量であった。同日に高幡木材センターにおいて西部・高幡両木材センターの合同市があり、昨年よりもやや少ない量ではあったが、連日の猛暑をはねのけるぐらいの活気のある来客があり、製品は完売した。

事業実績：

出荷量 役物・一般材 約100 m<sup>3</sup>

販売量 約100 m<sup>3</sup>

売上 約1000万円



## 高幡西部合同市

日時：平成 30 年 7 月 26 日

9：00～12：00

場所：高知県高岡郡四万十町東大奈路 5 0 5

主催：(協)高幡木材センター

(協)西部木材センター

事業実績：

総出荷材積 約 550 m<sup>3</sup>

販売材積 約 230 m<sup>3</sup>

販売金額 約 1,720 万

共催：土佐材流通促進協議会

来客数：約 80 人

参加者：谷脇企画監(県庁)

嶋崎、北添、青木、福原(木材協会)



今回が初めての開催となった(協)高幡木材センター(協)西部木材センターによる合同市。天候にも恵まれ、県内外から約 80 人の方にお越しいただいた。豪雨災害の影響で丸太が少ないにも関わらず、総集荷材積は約 550 m<sup>3</sup> となり、合同市らしい数量となった。役物は長期間市況が低迷しているなかで、単価は厳しかったが、全体的には集荷材積のうち約 230 m<sup>3</sup> を販売。約 1,720 万の売り上げとなった。

今後もこのような県内祭事にも積極的に取り組み、県外の方々に高知県内の木材産業の盛り上がりを PR していきたい。



## 第44回 ナイスふれあいフェア

日時：平成30年9月6～7日

9：00～16：00

場所：岡山県瀬戸内市邑久町福山 663-6

ナイス岡山市場

浜問屋：岡山扇木材(株)

出展：(有)竜野ハウジング

出荷：山上木材/共栄興産/佐竹木材/竹内製材所/  
後田製材所/濱田製材所/中越製材所

来客数：約1,000人(2日間)

参加者：中城、谷添(木材産業振興課)

嶋崎、青木(木材協会)

事業実績：岡山扇木材(株)

出荷量 役物・一般材 約100 m<sup>3</sup>

販売量 約25 m<sup>3</sup>

売上 約250万円

事業実績：竜野ハウジング(有)

出荷量 役物・一般材 約30 m<sup>3</sup>

販売量 約20 m<sup>3</sup>

売上 約150万円



中国地区での販売拡大拠点の岡山扇木材にて開催された、第44回ナイスふれあいフェアに TOSAZAI コーナーを出展した。岡山扇木材は社長が息子さんに代わり、TOSAZAI のボリュームも増えていた。竜野ハウジングは出材した TOSAZAI が良く売れており、TOSAZAI のパンフレットも配布して頂いた。

## 平成 30 年度ウッドステーション金沢第 3 回土佐材ブランドフェア

日時：平成 30 年 9 月 7 日(金)

8：30～16：00

場所：石川県金沢市かたつ 21 番地

かたつ工業団地内

株式会社 HIKARI

ウッドステーション金沢

来客数： 121 人 68 社

事業実績： 出荷量

役物・一般材 約 4 0 m<sup>3</sup>

販売量 約 4 0 m<sup>3</sup>

売 上 約 3 1 3 万円



高知県参加者： 谷脇企画監（木材産業振興課）二宮主査（木材産業振興課）松岡（木材協会）

北陸地区で唯一の販売拡大拠点である（株）HIKARI ウッドステーション金沢で第 3 回の土佐材ブランドフェアを開催した。一般材・役物の多品種の取扱いを精力的に行っている市場であり、役物の市況は厳しいとはいえ、今回も、西部木材センターや高幡センターの製材メーカーさんに協力していただき、まずまずの出材量であった。当日は雨の降る中にもかかわらず、北陸地区や中京地区からの木材問屋や工務店などから多くのお客さんが来られ、製品は完売した。8 日（土）の西部木材センターの市もあり、県内製材メーカーからの参加者はいなかったのが残念である。当地区は、ヒバを使う地域であるが、ヒバからヒノキへシフトし、ヒノキブランドが定着しつつある。お客さんの買い気を起こさせる市での梱包の仕方などに工夫している。



# 平成 30 年度高知県木材産業政治連盟懇談会

大変お忙しい中、中谷元衆議院議員をお迎えして高知県木材産業政治連盟懇談会が開催され、活発な意見交換が行われました。その概要を、ご報告します。

日時：平成 30 年 9 月 22 日（土） 10:30～13:00

場所：高知会館 3 階 飛鳥の間

出席者：26 名

内容：以下のとおり

- ・各分野からの現状報告と要望

素材生産業、木材流通業、加工業を代表して 7 名から現状報告や要望を行いました。

- ・中谷衆議院議員からの要望に対する回答と国政報告

7 名から要望のありました路網整備や A 材を活用した非住宅建築物の建築推進等の事項について丁寧に回答をいただいた後、木材産業の現状と施策の方向性について、事例を交えて多岐にわたってご報告いただきました。

- ・意見交換

その後、意見交換の場として多くの方から情報提供や提案があり、それらについても中谷衆議院議員から丁寧にコメントを頂き、懇談会は盛会裏に終わりました。



中谷衆議院議員からのご報告等



各分野からの現状報告と要望状況



懇談会の状況



各分野からの現状報告と要望状況

# スーパーよさこい 2018

## 原宿表参道元氣祭

開催日：平成 30 年 8 月 25 日～26 日

場所：原宿表参道

来場者数：約 80 万人

県内参加団体：

高知県「協働の森づくり」事業

塩見（木材産業振興課）／

高知県木製品工業連合協同組合（株）井筒屋・コスモ工房／木材協会 福原



今年度も原宿表参道元氣祭スーパーよさこい 2018 に高知県「協働の森事業」と共催で高知県木製品工業連合協同組合の井筒屋・コスモ工房が出展し、多数の来場者に「協働の森づくり」事業のパネル展示や高知県製木工製品の展示即売会を行った。今回は両日天候に恵まれ、全体的に来場者も多く、出展品が好評であった。(2日間売上約 10 万円)会場には高知市の岡崎市長も来場され、出展品を視察された。また、社名版には新しく製作されたばかりの木工連のロゴマークを採用し、来場者の方々に高知県の木製品の販路拡大や普及促進を PR した。



岡崎市長にも訪問して  
頂きました！



# 住宅着工情報・製品市況

資料(1)全国住宅着工戸数

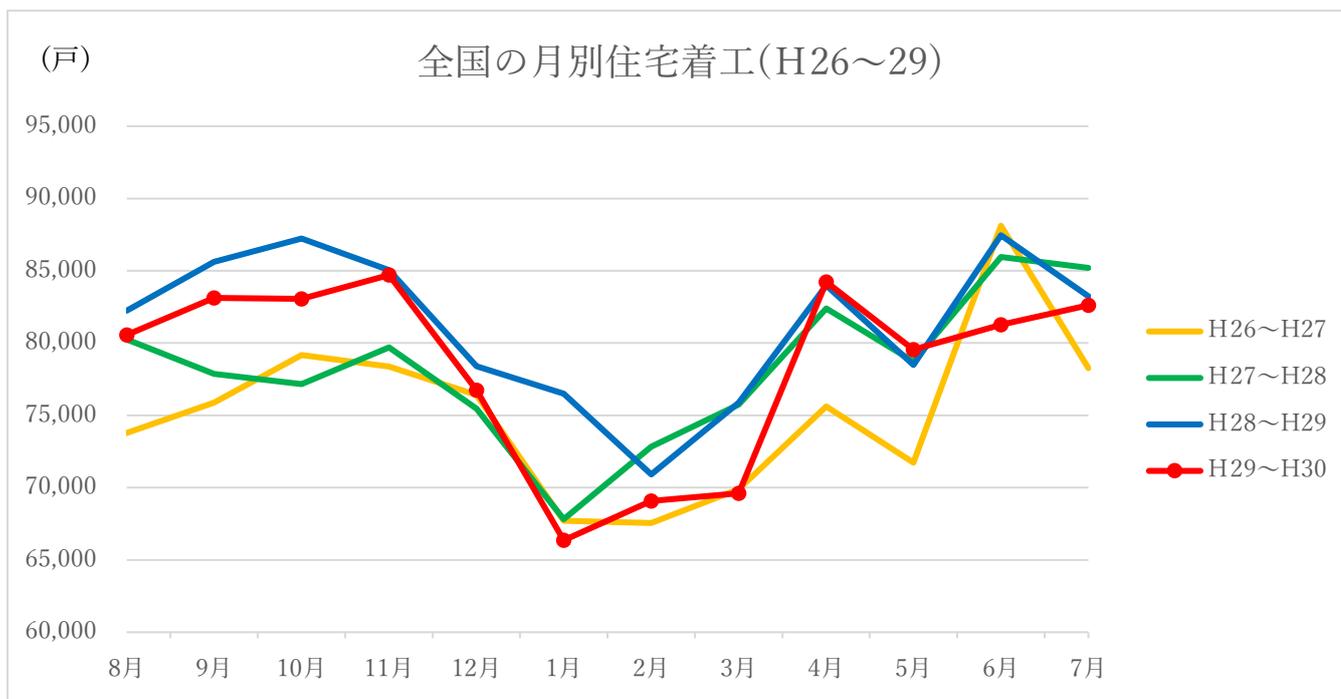
政府統計資料による

平成30年 7月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

(単位：戸、%)

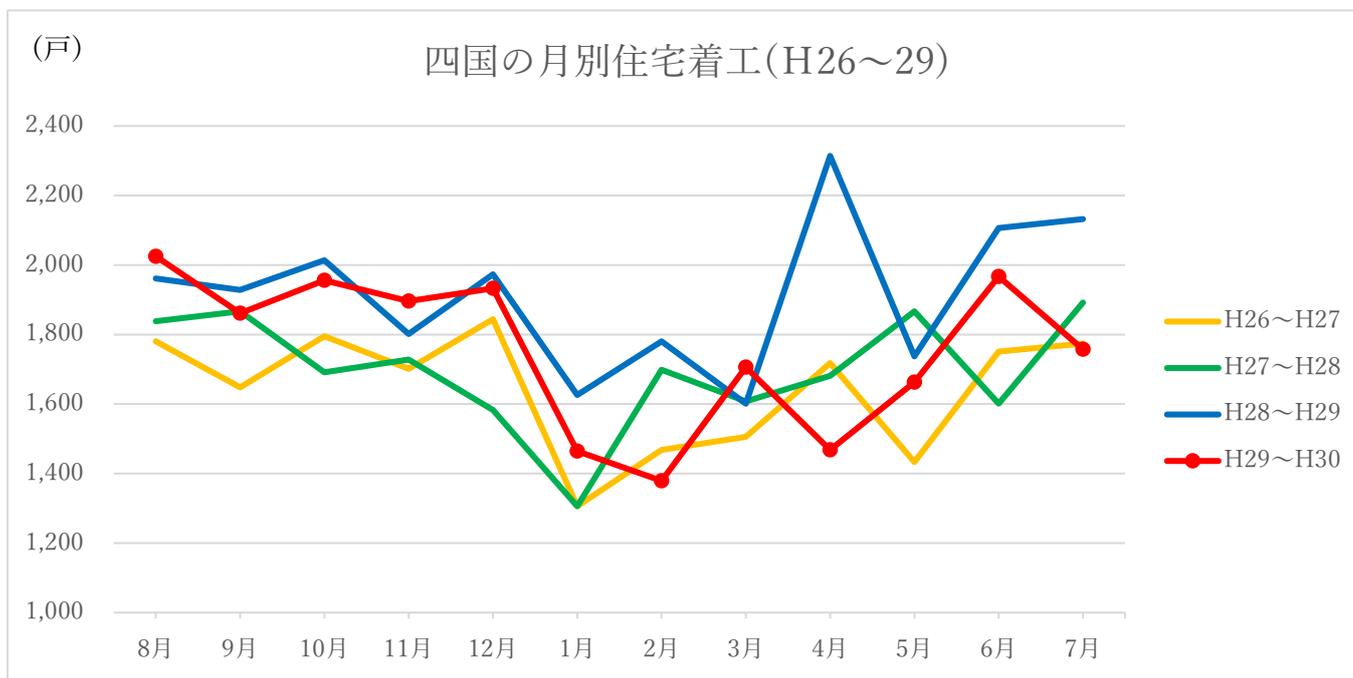
	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
北海道	3,542	-1.5	1,160	-2.3	1,972	1.7	25	4.2	385	-13.5	188	-19.3	197	2.1
青森	699	-4.1	356	-11.7	233	-17.7	0	-100.0	110	161.9	57	-	53	26.2
岩手	882	12.9	413	4.8	421	27.2	0	-100.0	48	-11.1	0	0.0	48	-11.1
宮城	1,531	-32.5	548	-3.5	706	-19.5	0	-100.0	277	-66.3	0	-100.0	277	1.1
秋田	502	49.4	241	3.9	227	187.3	2	0.0	32	39.1	0	0.0	32	39.1
山形	469	-11.2	321	-0.3	104	-31.6	0	-100.0	44	-13.7	0	0.0	44	-6.4
福島	1,302	5.5	582	7.2	495	-12.7	51	2,450.0	174	42.6	0	0.0	174	42.6
茨城	1,801	-12.3	920	2.9	580	-25.3	4	-90.5	297	-12.9	0	-100.0	297	8.8
栃木	1,247	13.9	581	8.0	440	19.6	0	0.0	226	19.6	0	0.0	226	19.6
群馬	1,042	-13.5	562	2.6	263	-42.2	10	66.7	207	5.6	0	0.0	207	5.6
埼玉	4,729	-5.2	1,250	-7.7	1,862	-4.5	35	169.2	1,582	-5.3	253	36.0	1,320	-8.8
千葉	3,893	-15.1	1,063	-8.7	1,722	-6.4	5	-93.0	1,103	-27.0	268	-45.2	821	-19.6
東京	13,031	25.9	1,412	17.4	6,715	18.3	20	-25.9	4,884	41.9	3,100	48.4	1,726	33.8
神奈川	6,016	-9.6	1,181	-15.5	2,919	11.8	73	812.5	1,843	-30.2	343	-68.3	1,416	-1.9
新潟	1,093	-2.5	627	3.8	301	-13.8	5	66.7	160	-3.0	99	41.4	61	-35.8
富山	559	25.6	317	27.8	207	21.8	3	200.0	32	23.1	0	0.0	32	23.1
石川	642	-1.2	330	-8.3	247	6.5	1	-	64	10.3	0	0.0	64	10.3
福井	434	19.9	228	8.1	173	35.2	1	-	32	39.1	0	0.0	32	39.1
山梨	358	-8.9	265	38.0	63	-33.7	0	0.0	30	-71.7	0	-100.0	30	36.4
長野	1,017	-3.7	658	9.3	256	-25.8	2	-66.7	101	-1.9	6	-66.7	93	9.4
岐阜	754	-21.9	417	-23.9	173	-31.9	5	150.0	159	-1.2	44	-	115	-28.6
静岡	2,309	25.6	1,084	4.1	769	70.1	7	250.0	449	30.9	160	213.7	289	-1.0
愛知	6,104	4.4	1,829	5.8	2,619	-10.1	31	-43.6	1,625	41.2	545	242.8	1,071	8.2
三重	913	7.7	496	12.0	311	8.0	18	-65.4	88	35.4	0	0.0	88	35.4
滋賀	709	-4.7	353	2.9	138	-52.1	2	100.0	216	92.9	117	290.0	99	20.7
京都	1,408	-18.2	435	1.6	685	4.1	2	-	286	-55.0	48	-87.6	238	-4.4
大阪	6,151	-1.3	909	-4.8	2,594	-4.6	0	-100.0	2,648	3.9	1,933	25.1	715	-28.7
兵庫	2,900	-0.6	855	-2.3	1,115	-12.1	4	-20.0	926	20.4	395	25.8	531	18.8
奈良	537	12.1	240	5.3	115	-14.8	6	-	176	51.7	0	0.0	176	51.7
和歌山	446	-12.4	257	-10.1	139	-12.6	0	0.0	50	-21.9	0	0.0	46	-28.1
鳥取	211	-29.4	162	2.5	40	-50.6	0	-100.0	9	-84.7	0	-100.0	9	350.0
島根	348	15.6	171	12.5	150	5.6	2	-	25	257.1	0	0.0	25	257.1
岡山	931	-1.7	397	-14.4	434	25.1	1	0.0	99	-26.7	0	-100.0	99	19.3
広島	1,627	-18.7	497	-5.7	589	-18.4	2	100.0	539	-28.3	249	-48.3	290	17.9
山口	767	54.3	340	7.6	291	134.7	2	100.0	134	139.3	56	-	78	39.3
徳島	375	-20.0	150	-13.8	202	-25.7	0	0.0	23	0.0	0	0.0	23	0.0
香川	470	-37.6	272	17.7	147	-59.4	0	0.0	51	-68.1	0	-100.0	51	104.0
愛媛	550	-6.5	317	25.3	175	-24.9	2	-85.7	56	-36.4	0	-100.0	56	16.7
高知	362	12.4	149	23.1	136	-21.4	0	-100.0	77	381.3	53	-	24	50.0
福岡	3,457	0.8	918	12.9	1,857	23.8	7	-79.4	675	-37.6	312	-55.0	363	-6.4
佐賀	574	5.5	207	7.3	253	-3.1	62	6,100.0	52	-41.6	0	-100.0	52	30.0
長崎	621	1.8	253	12.4	254	-23.0	3	-50.0	111	126.5	87	222.2	24	9.1
熊本	1,362	-18.5	539	-20.9	538	-40.1	0	-100.0	285	270.1	184	-	101	31.2
大分	703	11.9	284	14.1	268	28.8	35	1,066.7	116	-31.0	80	-27.3	36	-37.9
宮崎	664	20.1	319	37.5	284	3.6	2	-	59	25.5	0	0.0	59	25.5
鹿児島	883	-24.9	331	-20.4	411	-33.5	6	-81.3	135	22.7	39	-	96	-12.7
沖縄	1,690	-11.7	251	-22.8	1,254	-14.1	0	-100.0	185	46.8	83	40.7	100	49.3
合計	82,615	-0.7	25,447	0.3	35,847	-1.4	436	-5.6	20,885	-0.7	8,699	-4.0	12,004	2.5
北海道	3,542	-1.5	1,160	-2.3	1,972	1.7	25	4.2	385	-13.5	188	-19.3	197	2.1
東北	5,385	-8.4	2,461	-0.0	2,186	-4.5	53	341.7	685	-38.5	57	-89.6	628	11.7
関東	33,134	2.3	7,892	0.0	14,820	5.0	149	-13.9	10,273	0.7	3,970	-1.2	6,136	2.8
北陸	2,728	5.8	1,502	5.6	928	5.6	10	150.0	288	5.9	99	41.4	189	-6.4
中部	10,080	6.1	3,826	1.7	3,872	-0.9	61	-45.0	2,321	34.9	749	256.7	1,563	3.6
近畿	12,151	-3.6	3,049	-2.1	4,786	-8.5	14	16.7	4,302	1.3	2,493	9.5	1,805	-8.0
中国	3,884	-4.0	1,567	-3.1	1,504	6.2	7	75.0	806	-20.1	305	-48.4	501	27.2
四国	1,757	-17.6	888	14.0	660	-36.5	2	-92.3	207	-27.9	53	-69.7	154	37.5
九州	8,264	-4.0	2,851	1.5	3,865	-5.5	115	25.0	1,433	-11.7	702	-20.2	731	-1.5
沖縄	1,690	-11.7	251	-22.8	1,254	-14.1	0	-100.0	185	46.8	83	40.7	100	49.3
首都圏	27,669	4.1	4,906	-4.1	13,218	9.4	133	11.8	9,412	1.6	3,964	3.0	5,283	1.6
中部圏	10,080	6.1	3,826	1.7	3,872	-0.9	61	-45.0	2,321	34.9	749	256.7	1,563	3.6
近畿圏	12,151	-3.6	3,049	-2.1	4,786	-8.5	14	16.7	4,302	1.3	2,493	9.5	1,805	-8.0
その他地域	32,715	-5.3	13,666	2.2	13,971	-7.8	228	3.6	4,850	-16.5	1,493	-45.2	3,353	10.4

資料(2) 全国月別住宅着工数(平成 26 年 8 月～平成 30 年 7 月)



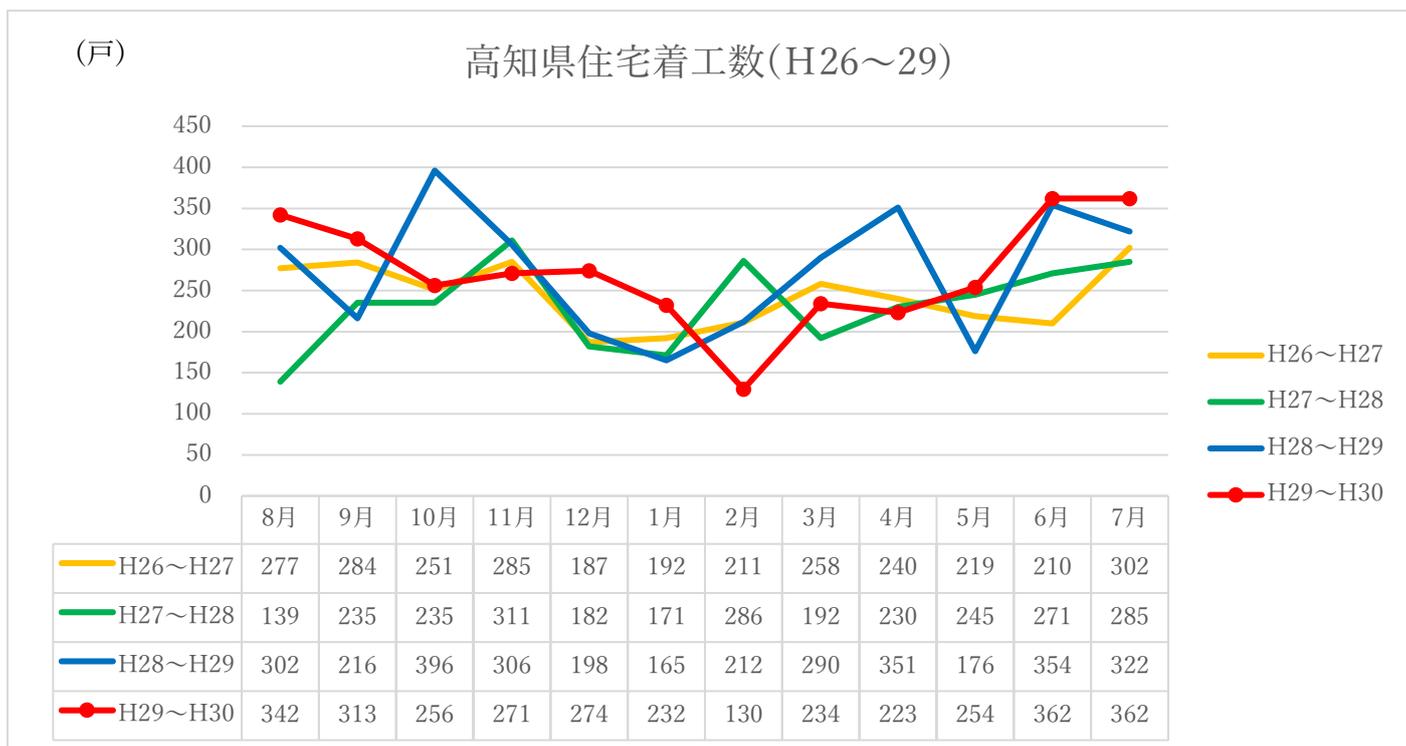
平成 30 年度 7 月の全国月別住着工数は 82,615(戸)と前年度同月の 83,234(戸)と比較すると 0.7%の減少となった。持ち家は 25,447(戸)と 0.3%の増加、貸家は 35,847(戸)と 1.4%の減少、分譲では 20,885(戸)と 27.9%の減少となった。

資料(3) 四国の月別住宅着工数(平成 26 年 8 月～平成 30 年 7 月)



平成 30 年度 7 月の四国の月別住着工数は 1,757(戸)と前年度同月の 2,132(戸)と比較すると 17.6%の減少となった。持ち家は 888(戸)と 14.0%の増加、貸家は 660(戸)と 36.5%の減少、分譲では 207(戸)と 13.5%の増加となった。

資料(4) 高知県の月別住宅着工数(平成 26 年 8 月～平成 30 年 7 月)



平成 30 年 5 月の高知県住宅着工数は 362(戸)と前年度と比較して 12.4%の増加。持家は 149(戸)の+23.1%。貸家は 136(戸)の-21.4%。分譲は 77(戸)の+381.3%でそのうち、分譲マンションは 53(戸)。分譲一戸建ては 24(戸)の+50.0%となった。



## 秋需後半に不足感と相場上昇の可能性

ここ2年ほど、9・10月の需要は期待ほど伸びず、11月後半から年明けにまとまった荷動きが出ていて、不足感から相場が上昇する傾向が続いている。今年も盆明けの荷動きは休み前の受注残の消化が中心で9・10月の実需は不透明感が強い。そのために製材品に先高観や品薄感が出ていても、先の需要を見込んだ手当は進みにくく、受注がまとまっていない。ただ、地域ビルダーや工務店による消費増税前の販売攻撃がここへきて活発化し始め、一定の手ごたえが聞かれるようになってきた。さらに、今年4月～6月の停滞時期に需要を下支えしてきた戸建て以外の物件向けはこの先の高齢者向け住宅などある程度需要が見えており、年末まで引き続き底堅い荷動きが期待されている。さらに、7月の西日本豪雨の被災地で復旧に手を取られ止まっていた新築や復興住宅の建築が動き出すと、今年も12月前後に製品需要は山場となる可能性がある。国産材製材の生産能力は昨年度に比べて全国的に増大しているため、本来であれば需要の山場にも品不足は出ない見通しだが、今年は西日本豪雨でこの想定が崩れた。被害の大きかった岡山、広島、愛媛は国産材製材の産地で、近畿はもとより中部、首都圏へも製品を供給している。7月以降、被災地から製品供給は減少しているが、需要も本格化していないため、目立った不足感は出ていない。首都圏では昨年度落ち込んだ九州からの供給が今春から回復していたことが、供給の補填につながったとの見方もある。ただ、桧製材の大手である愛媛県の八幡浜管材協同組合の工場が浸水で生産停止となった影響は、特に桧土台の需要に少なからず及んでくると見られる。また、中国・四国地域は豪雨により多くの林道が崩れたため、丸太の出材量も減っている。そのため稼働に支障が出なかった工場も、今後丸太の手当てに苦戦し、生産量が落ちることが予想される。こうした供給体制のなかで需要が一時的に盛り上がると、首都圏をはじめとする需要地では、中国・四国地域外からの供給補填が追い付かず、品不足が顕著となり相場が急伸する懸念がある。

## 豪雨被害

「2018年7月豪雨」直後の7月10日ごろから近畿中国森林管理局や四国森林管理局等はヘリコプターによる上空からの調査を実施。7月末から被害の大きな地域の山間部や林道等の陸路による調査がはじめられている。四国地域の素材生産業者は、幹線道路や林道、作業道の崩壊で山に林業機械が取り残されたほか、土砂と一緒に流されるなど、「山奥に入るほど被害は大きくなっているのではないかと話す。作業はストップし、復旧は進みつつあるが、場所によっては10月にならないと出材できないという声も聞かれた。特に高知県では、秋以降の国有林の出材減が懸念されている。製材メーカーをはじめ、浸水・土砂崩れ等の被害に遭い、丸太需要の先行きは読めない。豪雨災害の後も台風による雨が長続きしている。原木市場では地域によって丸太出材量の感触に格差はあるものの、大きな影響は聞かれない。生活道路が優先され林道・作業道の復旧には時間が掛かるが、例年夏場は丸太の出材が少なく、全般に製材所の買い気も低調だ。盆明け後も建築をはじめ、バイオマス関連等で差し迫った供給不足間は感じられない。四国の丸太相場は、地域によって横ばい、あるいは強基調とばらつきがある。

林野庁によると、7月の豪雨災害による林野関係被害の発生状況は、34県で1万1,466ヵ所、被害総額1,087億9,200万円に上る(8月9日時点)。このうち、四国4県は2,374ヵ所、被害額378億5,100万円。中国地区は2,394ヵ所、被害額321億8,100万円。中国・四国地区で残体の64.37%を占める。県別で見ると、特に広島県や愛媛県、高知県に被害が集中し、広島県1,181ヵ所(249億2,000万円)、愛媛県1,646ヵ所(118億4,900万円)、高知県534ヵ所(224億1,400万円)。局地的な被害が点在し、林地荒廃の被害は岡山県108ヵ所(32億

4,100 万円)、広島県 329 ヲ所(211 億 8,100 万円)、愛媛県 104 ヲ所(71 億 9,400 万円)、高知県 115 ヲ所(181 億 1,700 万円)林道施設等の被害は岡山県 377 ヲ所(5 億 1,000 万円)、広島県 843 ヲ所(31 億 6,800 万円)、愛媛県 1,512 ヲ所(36 億 6,200 万円)、高知県 409 ヲ所(39 億 3,000 万円)になる。木材加工・流通施設への被害は岡山県 18 ヲ所(2 億 4,900 万円)、愛媛県 15 ヲ所(7 億 3,500 万円)で特に川の氾濫等により浸水した地域に目立つ。

## 白アリはゴキブリの仲間



京都大学の築瀬佳之先生の「木材の劣化と対策」講座を受けてきました。

羽のついたアリがシロアリと思っている方が多いと思います。しかしそれは見間違い。

普通の蟻はミツバチの仲間、でもシロアリは進化系統から言えば全然別の種類、実はシロアリはゴキブリの仲間だそうです。

シロアリは日本中どこにでも居て、シロアリから家を守るには、「進入路をふさぐ」「床下を乾燥させる」

しかありません。シロアリやキクイムシも木材の赤身の部分は嫌いです。腐朽菌も 15%前後に乾燥させた木材なら危険度を大きく下げることができます。

## 第44回木材まつり 優良土佐材展示即売会 ご案内

謹啓 初秋の候 皆様ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび一般社団法人高知県木材協会の主催による第44回高知県木材まつり「優良土佐材展示即売会」を開催することとなりました。

高知県産優良素材と製材品を一堂に集積し、その評価の高揚と業界の振興発展を図るための年に1度のイベントであります。出荷者、買い方の皆様におかれましては、この展示即売会を盛会裏に開催するため、多大の出荷とお買い上げにご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

平成30年9月吉日

敬具

### 素材の部

#### 高知県林材(株)

高知市仁井田新築 4348

電話：088-847-0111

FAX：088-847-0116

**平成30年10月24日(水)**

**開市10時 表彰式12時半**

国有林(委託材) 500m<sup>3</sup> 民有林 1,000m<sup>3</sup> 計 1,500m<sup>3</sup>

高齢級桧 造桧 造杉 他

### 製材品の部

#### (協)高知木材センター

高知市仁井田新築 4517-8

電話：088-847-4411

FAX：088-847-4430

**平成30年11月15日(木)**

**開市9時 表彰式12時半**

午前：役物類(造作材 柱材 他)

午後：一般材(桧土台 柱材 板材 他)

国有林材製品 250m<sup>3</sup> 民有林材製品 500m<sup>3</sup> 計 750m<sup>3</sup>

**販売方法及び保証金** セリ市の方法、保証金20万円(但し 担当市場が認めた方は免除)

**主催 一般社団法人高知県木材協会**

高知市小倉町2番8号 電話：088-883-6721 FAX：088-884-1697

**後援**

高知県、四国森林管理局、高知市、高知県森林組合連合会

高知県素材生産業(協)連合会、高知県木材産業協同組合連合会

高知県木材協同組合、(協)高知県木材市場連盟

高知新聞社、RKC高知放送、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知

KSSさんさんテレビ

入場無料

# 平成30年度 経営セミナーのご案内

一般社団法人高知県木材協会 会長 小川 康夫

高知県木材協会は、木材・森林と人の健康や生理的な関係について、特にそのリラックス効果に関する科学的知見を得る機会として、医学博士であり、この分野では第一人者である千葉大学環境健康フィールド科学センター宮崎教授をお迎えして、講演会を開催する運びとなりました。宮崎教授は2000年に「木材と森林浴の快適性増進効果の解明」の研究に対して、農林水産大臣賞、さらに2006年に日本生理人類学会賞受賞され、自然がもたらす人への快適性などを研究されており、国際的にも活躍されています。ご多用な折とは存じますが、大変貴重な講演の機会と思いますので、より多くの皆様ご参加いただきますようお願いいたします。

〔日時〕 平成30年10月30日(火)  
13:00 ~ 15:00 (予定)

〔会場〕 高知会館【飛鳥】  
高知県高知市本町 丁目6-4 2  
TEL 088-823-7123

○主催 一般社団法人高知県木材協会



## 講演

# 「木材・森林のリラックス効果を科学する」



講師 千葉大学環境健康フィールド科学センター 宮崎 良文 教授

参加ご希望の方は下記明記の上 10月19日までにお申し込み下さい。

FAX 088-884-1697 E-mail info@kkenmoku.com

会社名	
名前	
連絡先	
E-mail	

問い合わせ先 高知県木材協会 高知市小倉町 2-8 TEL 088-883-6721 担当 松岡 良昭

# FM 高知オリジナル番組

## 「木曜もくもく84ラジオ」!



高知県林業活性化推進協議会は、土佐材に関する様々な取り組みやイベントなどの情報を

広く県民に発信し、「木を使おう」という機運を盛り上げます。

**[放送期間]** 平成30年8月～12月

**[放送日時]** 毎週木曜日 14:47～14:55

**[放送予定]**

放送日程	出演団体	出演者	連絡先	内容
8月2日	高知県木材協会	松岡センター長	088-883-6721	番組や団体の紹介、事務用機のこと等
8月9日	四万七ノキブランド化推進協議会	事務局：佐竹 大正集成材工場長、副工場長	0880-22-3113	協議会の取組、集成工場展示場の紹介等
8月16日	一般社団法人 高知県中小建築業協会	会長：立道 和男	088-822-0303	CLT工法で建設する事務所棟の紹介
8月23日	高知県木製品工業連合協同組合	予定 池会長、江西副理事長	088-883-6721	当組合の紹介、今年度の取組み等
8月30日	一般社団法人 高知県中小建築業協会	会長：立道 和男	088-822-0303	地域材を使った応急仮設住宅について
9月6日	高知県居住支援協議会空き家対策部会	事務局：立道 和男	088-822-0303	地域材を使った空き家利活用について
9月13日	高知県木製品工業連合協同組合	予定 池会長、江西副理事長	088-883-6721	当組合の紹介、今年度の取組み等
9月20日	公益社団法人高知県森と緑の会	浜田 理香	088-855-3905	木のおもちゃにふれあう事業の紹介
9月27日	木と人出合い館	館長 塩田正興	088-879-3304	都市緑化祭（10/6～8）での無料住宅相談会
10月4日	木と人出合い館	館長 塩田正興	088-879-3304	住宅相談フェスタ
10月11日	高知県木材協会	松岡センター長	088-883-6721	10/20、21のもくもくランドのご紹介 10月30日講演会（木のリラックス効果を検証する）案内
10月18日	幡多山もりフェス実行委員会	事務局：坂本	0880-63-3151	幡多山もりフェス（10/28）PR
10月25日	仁淀川町	産業建設課産業振興係長 奥田 誠	0889-35-1083	仁淀川町林業研修制度・林業体験ツアーの紹介
11月1日	香美市	農林課林政班主幹 大峯 啓之	0887-52-9283	木材住宅支援事業の紹介・事例発表会の案内
11月8日	高知県立高知工業高等学校 一般社団法人フューチャーデザインと創造的教育協会	進路指導部澤田 浩志	088-831-9171	木のBOX開発ものづくり施術展出展の紹介
11月15日	高知県木材協会	松岡センター長	088-883-6721	事務用機の案内

高知県林業活性化協議会会員有志

参加  
無料

平成 30 年度連携組織活性化支援事業

# 地域資源と向き合うデザイン

本県では和紙、木材、刃物、珊瑚などの地域資源に恵まれており、それらを活かした産業が活発ですが、素材のポテンシャルに依存するだけでなく、地産外商に取り組むうえではユーザーへのデザインによる商品訴求力を高めることが重要です。

そこで本会では、「デザインは生活や行動のすべての中にある」を信条に製造現場へ出向き、生産者との関係を深めながら、生活家具を中心に素材特性・機能性を踏まえたデザインの提案や、オーテピア休憩スペースの木製椅子デザインにも関わったムラサワデザイン 村澤一晃 氏を招聘してセミナーを開催することと致しました。

セミナーでは、素材や製品を生み出す歴史的・人材的な背景が含まれた地域資源を活用するために必要な視点で、これらの関係性を見直し、根拠のあるデザインに繋げることを学ぶとともに、いくつかの開発事例を通して、地域資源が生み出す価値の可能性を考えて頂く内容としています。

皆様におかれましては、お繰り合わせのうえ、是非ご参加頂きますようご案内申し上げます。

## ■開催日時・場所

○日時・・・平成30年 10月 9日(火) 14:00~16:00

○場所・・・オーテピア 4階研修室 (高知市追手筋 2-1-1)

## ■内 容

13:30~ (受付)

14:00~16:00 講演「地域資源と向き合うデザイン」

## ■講師プロフィール

村澤一晃 (ムラサワカズテル) 氏

1965年生まれ、東京都出身

垂見健三デザイン事務所を経て、1989年イタリアに留学。

1990年よりセルジオ・カラトローニ デザイン建築事務所(ミラノ)に勤務。

1994年、ムラサワデザイン開設。

ムラサワデザイン代表。家具を中心とした生活道具全般のデザインを手がけられている。

地域性と工場の個性を活かした製品開発を行いながら、継続性のあるモノづくり環境を創出されている。「デザインは生活や行動のすべての中にある」を信条として、現場で手を動かし、それぞれのメーカーと関係を育てていく股旅デザイナー。2017年までに21製品がグッドデザイン賞を受賞されていて、中でも2002年に受賞されたスタッキングチェア ENNE がオーテピア高知図書館に数多く設置されている。地域資源のブランド化を目的としたプロジェクトのプロデューサーも勤められている。



## ■定員・申込締切り

○定員・・・90名

○申込み締切・・・10月2日(火)

## ■お申し込み方法

裏面の参加申込書にご記入のうえ締切日までにFAXにてお申し込みください。

事業主の皆さまへ

# 「働き方」が変わります!!

2019年4月1日から  
働き方改革関連法が順次施行されます

Point  
1

施行：2019年4月1日～ ※中小企業は、2020年4月1日～

## 時間外労働の上限規制が導入されます！

時間外労働の上限について、月45時間、年360時間を原則とし、  
臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満（休日労働含む）、  
複数月平均80時間（休日労働含む）を限度に設定する必要があります。

Point  
2

施行：2019年4月1日～

## 年次有給休暇の確実な取得が必要です！

使用者は、10日以上の子年次有給休暇が付与される全ての労働者に対し、  
毎年5日、時季を指定して有給休暇を与える必要があります。

Point  
3

施行：2020年4月1日～ ※中小企業は、2021年4月1日～

## 正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の 不合理な待遇差が禁止されます！

同一企業内において、  
正規雇用労働者と非正規雇用労働者（パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者）の間で、  
基本給や賞与などの個々の待遇ごとに不合理な待遇差が禁止されます。

「働き方」に関する詳細・お悩みは【相談窓口】へ  
改正法の詳細は厚生労働省HP『「働き方改革」の実現に向けて』をご覧ください。  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html>



40歳～74歳の方は

日本一の健康長寿県構想

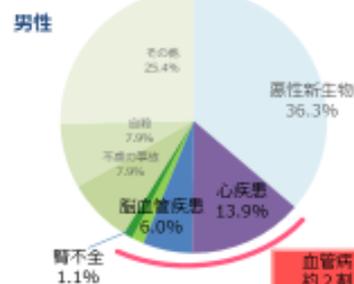
# 特定健診を 受けましょう

年に1度の健診で血管病を予防しましょう

※血管病とは、糖尿病、高血圧、動脈硬化などにより  
引き起こされる一連の疾患（心筋梗塞、脳卒中など）



働きざかり世代（40-64歳）の死因



出典：厚生労働省「平成28年人口動態統計」

特定健診は、高血圧・糖尿病・高脂血症を  
早期に発見することができる健診です。

心疾患、脳血管疾患などの  
血管病は食生活や運動習慣、  
喫煙、飲酒などの生活習慣  
が発症や進行に深く関わっ  
ています。

血管病の予防のためには、  
より良いせいか生活習慣  
を身につけるとともに、  
健診を受け、異常を早期  
に発見することが重要で  
す。

高血圧、糖尿病などは、  
自覚症状がないまま進  
行していきます。

40歳～74歳までのすべての方が対象です。  
特定健診を今年度まだ受けていない人は  
お申し込みの上、受診してください。  
★通院中の方も特定健診の対象です。

特定健診は・特定保健指導は、医療保険者が実施しています。  
詳しくは、ご加入の医療保険者（健康保険証の発行元）にお問い合わせください。

高知県 健康政策部 健康長寿政策課・国民健康保険課

## 木材協会予定(10月～11月)

10月18日	第53回全国木材産業振興大会(広島大会)	木材協会事業
10月20～21日	第1回もくもくエコランド森林環境学習フェア	木材普及推進協会事業
10月24日	第44回木材まつり 素材の部(高知県林材)	木材協会事業
10月28日	幡多山もりフェス(四万十川左岸河川敷)	合法木材推進事業
10月30日	高知県木材協会経営セミナー(高知会館 飛鳥)	県産材需要拡大サポート事業
10月30日	高知県木材協会理事会と祝賀会(高知会館)	木材協会事業
11月2日	第4回高松太洋木材市場土佐材まつり(香川県高松市)	展示会事業
11月15日	第44回木材まつり 製材品の部(高知木材センター)	木材協会事業
11月16日	第9回丸宇木材市売土佐材展(茨城県下妻市)	展示会事業
11月20～22日	ジャパンホームショー(東京ビックサイト)	消費地商談会事業
11月27～28日	中国・四国ブロックJAS検査員・審査員担当者研修会(愛媛県)	JAS普及促進事業

いつでもお問い合わせください！

お待ちしております！

## (一社)高知県木材協会

〒780-0801 高知県高知市小倉町 2-8

TEL 088-883-6721

FAX088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com/>

